

生産・保全現場の困りごと・課題に挑んだ改善事例が集結！

# 改善事例発表大会2025

## 西日本地域

2025年 6月 19日(木) 開催 海峡メッセ下関

設備の  
管理方法・  
基準の見直し

デジタル  
技術を  
利用した改善

作業の  
効率化・  
容易化

設備の  
信頼性向上

人財育成

現場最前線の改善事例から あなたの現場の改善ヒントに！  
現場発DX/デジタル化 や センシング技術 など  
これからの時代を担うモノづくり現場力を育むチャンス！！

発表会場：海峡メッセ下関 国際会議場

### 発表企業

※ 企業名50音順、法人格略

アイシン九州

クラサケミカル

住友化学

東

ソ

ー

東

洋

シ

ト

ク

ヤ

マ

トヨタ自動車九州

ヒロテック

マツダ

発表企業数：9社 発表事例数：9事例



今年度も、好評の“発表者との交流会”を開催！  
質疑応答では聞けない詳しい情報交換（苦労話や失敗談も）ができます！  
地域の企業間交流の活性化にも繋がりますので、ぜひご活用ください

イベントの詳細・お申込みは、

**改善事例発表大会** 公式サイト

<<https://info-jipm.jp/event/kaizen/>>



全国設備管理強調月間とは？

経営者層をはじめ全従業員の設備管理への意識を高め、設備管理の重要性を広く認識いただくことで、産業界の生産性向上のみならず環境保全や事故、災害防止に寄与することを目的としています

時間		発表情報		※ 敬称略
09:30▶		開場・受付開始		
10:00▶10:10		開会のあいさつ		
事例 1	10:10 ▼ 10:30	<b>工務・保全</b>	冷却水によるステンレス鋼の腐食トラブルと再発防止について	<発表キーワード> ● 設備の管理方法・基準の見直し ● 設備の信頼性向上
		株式会社トクヤマ 徳山製造所 設備管理グループ 設備診断チーム 主任	岡本 直樹	
事例 2	10:30 ▼ 10:50	<b>工務・保全</b>	ウレタン充填設備の充填弁ベローズ破損防止	<発表キーワード> ● 改良保全 ● 予防保全・予知保全 ● コストダウン
		東ソー株式会社 南陽事業所 設備管理部 計装課	松尾 宗洋	
10:50▶11:00		休憩		
事例 3	11:00 ▼ 11:20	<b>工務・保全</b>	高触感注入機 高圧異常撲滅 ～廃品率低減への挑戦～	<発表キーワード> ● 設備の信頼性向上 ● 予防保全・予知保全 ● 人財育成
		トヨタ自動車九州株式会社 宮田工場 部品部部品設備課	濱砂 光	
事例 4	11:20 ▼ 11:40	<b>工務・保全</b>	サステナブルな保全体制とスマート保全	<発表キーワード> ● デジタル技術を利用した改善 ● 作業の効率化・容易化 ● 計画保全
		住友化学株式会社 大分工場 工務部電気設計保全T	宮崎 将太	
事例 5	11:40 ▼ 12:00	<b>工務・保全</b>	電着ハンガーの予防保全効率化	<発表キーワード> ● 作業の効率化・容易化 ● デジタル技術を利用した改善
		マツダ株式会社 防府工場 第4車両製造部 工務係 班長	田中 伸憲	
12:00▶13:00		昼休憩(お弁当をご用意しております)		
事例 6	13:00 ▼ 13:20	<b>運転・製造</b>	全員参加で取り組んだ、 マフラー生産ライン生産性向上への挑戦!	<発表キーワード> ● 作業の効率化・容易化 ● 人財育成
		株式会社ヒロテック 防府工場 組立課 職長	金子 友和	
事例 7	13:20 ▼ 13:40	<b>工務・保全</b>	インクジェットプリンター印字不良削減への取り組み	<発表キーワード> ● 品質安定化・向上 ● 作業の効率化・容易化 ● 設備の信頼性向上
		クラサスケミカル株式会社 大分コンビナート 工務部計装グループ	弓削 滉斗	
13:40▶13:50		休憩		
事例 8	13:50 ▼ 14:10	<b>工務・保全</b>	順序生産の拡大による在庫低減	<発表キーワード> ● 品質安定化・向上 ● 設備の信頼性向上 ● 設備の管理方法・基準の見直し
		株式会社東洋シート 本社工場 生産技術部工務課 課長	大嶋 康裕	
事例 9	14:10 ▼ 14:30	<b>運転・製造</b>	ページ・捨て打ち条件の最適化による歩留りロス改善	<発表キーワード> ● コストダウン ● 環境・省エネルギー
		アイシン九州株式会社 生産本部 製造部 職長	原田 茂樹	
14:30▶14:40		休憩		
14:40▶15:40		発表者との交流会		
15:40▶15:55		全国設備管理強調月間 応募作品のご紹介		
15:55▶16:15		表彰式		

事例1	<p><b>冷却水によるステンレス鋼の腐食 トラブルと再発防止について</b></p> <p>株式会社トクヤマ 徳山製造所 設備管理グループ <b>岡本 直樹</b> 設備診断チーム 主任</p> <p>当社設備において冷却水中の微生物が関与したと推定されるステンレス鋼の腐食トラブルが頻発した。微生物種の同定を含む原因究明調査及び設計や運転の面から再発防止対策を検討・実施した内容について発表する。</p>	<p><b>全員参加で取り組んだ、 マフラー生産ライン生産性向上への挑戦！</b></p> <p>株式会社ヒロテック 防府工場 <b>金子 友和</b> 組立課 職長</p> <p>労働人口減少の中、より少ない人数でラインを生産し生産性を向上することに挑戦した活動について、現場のロス进行分析し職場のムリ・ムラ・ムダを徹底排除、非常に高い目標に対して活動メンバー&amp;職場全体が全員参加で取り組み目標を達成した事例を発表する。</p>
事例2	<p><b>ウレタン充填設備の充填弁 ベローズ破損防止</b></p> <p>東ソー株式会社 南陽事業所 <b>松尾 宗洋</b> 設備管理部 計装課</p> <p>設置当初から月1回の頻度で充填弁ベローズが破損していた。ウォーターハンマーによる過大圧力が原因と判明したため、対策として、充填弁一次側に調節弁を新設することで過大圧力を抑制し、破損を防止した事例を発表する。</p>	<p><b>インクジェットプリンター印字不良 削減への取り組み</b></p> <p>クラサスケミカル株式会社 大分コンビナート <b>弓削 滉斗</b> 工務部計装グループ</p> <p>ポリプロピレン樹脂の袋詰め設備における印字トラブルについて、技術の進歩と改善の取り組みを通じて、印字品質の向上とトラブル削減を達成した解決プロセスと成果を発表する。</p>
事例3	<p><b>高触感注入機 高圧異常撲滅 ～廃品率低減への挑戦～</b></p> <p>トヨタ自動車九州株式会社 宮田工場 <b>濱砂 光</b> 部品部部品設備課</p> <p>以前撲滅した異常が、数年の時を経て再発していた。過去の事例を振り返りながら、再度撲滅に取り組んだ。BIツールを活用した予兆保全にも注力し、設備の兆候管理による未然防止と人財育成を視野に活動した事例を発表する。</p>	<p><b>順序生産の拡大による在庫低減</b></p> <p>株式会社東洋シート 本社工場 <b>大嶋 康裕</b> 生産技術部工務課 課長</p> <p>自動車用シートの生産における、フレーム部品への順序生産の拡大を進めるにあたって生産効率低下の要因となっている「パイプベンダー」と「電着塗装工程」の改善によって中間在庫の低減を行った事例を発表する。</p>
事例4	<p><b>サステナブルな保全体制とスマート保全</b></p> <p>住友化学株式会社 大分工場 <b>宮崎 将太</b> 工務部電気設計保全T</p> <p>点検報告書作成のオンタイム化は、市販ツールがあるもののセキュリティやコストなどの制約で導入を断念していた。この問題を協力会社と共に、Power Appsで作成したアプリなどで乗り越え、オンタイム化を実現した事例を発表する。</p>	<p><b>ページ・捨て打ち条件の最適化による 歩留りロス改善</b></p> <p>アイシン九州株式会社 生産本部 <b>原田 茂樹</b> 製造部 職長</p> <p>射出成形の【歩留りロス】で最も大きい【立ち上げロス】に着目し改善を行い、1回当たりの立ち上げロスを50%減を達成できた。①ページ効果の高い条件 ②良品ショット数 の改善事例を発表する。</p>
事例5	<p><b>電着ハンガーの予防保全効率化</b></p> <p>マツダ株式会社 防府工場 <b>田中 伸憲</b> 第4車両製造部 工務係 班長</p> <p>電着ハンガー点検に掛かる工数30%削減を目標に定め、マイコン技術を活用した管理方法を構築し、コストを抑えたシステムで予防保全の効率化を図った事例を発表する。</p>	

# 改善事例発表大会2025は、全国7地域で開催！！



地域	開催日	会場
東北・北海道	6月20日(金)	多賀城市文化センター
関東	6月25日(水)	曳舟文化センター
北陸	6月11日(水)	富山国際会議場
中部	6月27日(金)	ポートメッセなごや
関西	6月13日(金)	京都テルサ
中国・四国	6月17日(火)	広島県情報プラザ
西日本	6月19日(木)	海峡メッセ下関

各地域の詳細は、改善事例発表大会公式サイトをご覧ください<<https://info-jipm.jp/event/kaizen/>>

## 参加お申込み

改善事例発表大会公式サイト<<https://info-jipm.jp/event/kaizen/>>  
の“参加お申込み”から



参加料（左：10%税込み価格、右：本体価格）

会員価格 <sup>※1</sup>	¥19,250-/名(¥17,500-/名)
一般価格	¥25,850-/名(¥23,500-/名)
TPM経営者懇話会会員価格 <sup>※2</sup>	<b>ご招待</b>

- 上記料金は、1会場あたり1名で参加する場合の料金です
- 参加料には、昼食・テキスト（資料）代が含まれています
- ※1 会員価格の適用には、公益社団法人日本プラントメンテナンス協会（正会員・事業所会員）、もしくは一般社団法人日本能率協会（法人会員・協賛団体会員）の会員であることが必要です  
会員ご入会の有無は、下記のWEBサイトにてご確認ください  
・公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会  
<<https://www.jipm.or.jp/company/memberlist/>>  
・一般社団法人 日本能率協会  
<<https://list.jma-member.com/>>
- ※2 TPM経営者懇話会会員価格の適用には、公益社団法人日本プラントメンテナンス協会 TPM経営者懇話会の会員であることが必要です

会員以外の方は、  
この機会にぜひ当会会員へのご入会をご検討ください

参加申込方法・参加料支払方法

- 派遣窓口ご担当者、および参加者が「参加申込み規定」に同意したうえで、上記のWEBサイトよりお申込みください。FAXでのお申込みはできません
- 複数名でのご参加をご希望の場合も、上記のWEBサイトにて一括お申込みが可能です
- 開催日にご持参いただく受付票は、開催日2週間前に参加者のメールアドレスへ送付いたします。メールアドレスを持っていない参加者は、派遣窓口ご担当者のメールアドレスをご登録ください
- お申込みの際は、本紙ならびにお申込みWEBサイトに記載の注意事項の内容をよくご確認ください
- 参加申込みは、開催直前まで受付いたしますが、テキスト（資料）・昼食（お弁当）などご用意できないこともございますので、お早めにお申込みください
- 参加料の請求書は、開催日2週間前より派遣窓口ご担当者のメールアドレスへ送付いたします。請求書に記載の入金期日・銀行口座にお振込みください。なお、振込に関わる手数料は貴社にてご負担ください
- キャンセル規定  
開催当日～7営業日前の参加取消し：参加料全額  
※2025年6月12日(木)よりキャンセル不可  
※キャンセル・変更の申し出は、以下URLよりお願いいたします  
<<https://info-jipm.jp/contact/>>  
お問い合わせ> イベント申込み後のお問い合わせ

- 録音・録画・撮影、およびSNSへの投稿は禁止です。守られなかった場合、著作権・肖像権侵害として対処することがございます。また今後の参加をお断りすることがございます
- 免責事項  
天災地変や伝染病の流行、大会会場・輸送等の機関のサービスの停止、官公庁の指示等の当会が管理できない事由により大会内容の一部変更および中止のために生じたお客様の損害については、当会ではその責任を負いかねます
- 個人情報に関する取り扱いについて  
ご記入いただいた個人情報は、当大会の運営・管理・資料送付、出欠の確認等に利用いたします。また、後日、当会より事業・サービス・セミナー等のご案内を送付させていただく場合がございます。当会は、ご提供いただいた個人情報を当会のプライバシーポリシーに則って安全対策を施し適切に管理いたします。当会のプライバシーポリシー、個人情報の開示・訂正・削除等の詳細につきましては、当会ホームページ（<https://www.jipm.or.jp/>）をご覧ください

## お問い合わせ先

公益社団法人日本プラントメンテナンス協会 普及推進部

TEL：0120-451-466（または、03-6865-6081） E-mail：EVENT@jipm.or.jp